

針谷市政3期目の重点政策 令和7年度の主な取り組み



本市が将来にわたり活力を維持し続けるためには、若者に選ばれ、子どもたちの笑顔があふれる都市であることが大切です。小中学校給食費の無償化を継続するとともに、切れ目のない支援等により、安心して子育てができる環境をつくります。学校施設の改修やICT教育機器の整備を進めることで、充実した環境の下、質の高い教育を維持します。また、予防接種や健診への支援等を通じ、市民が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

教育・福祉の充実



大堤地区では、にぎわいの創出に向け、文化・産業・商業の交流機能を備えた新たなまちづくり拠点の整備を進めているところです。地域未来投資促進法を活用するに当たり事業終期があることから、全庁を挙げてスピード感を持って取り組みます。また、生活道路や幹線道路の整備、消防防災機能の向上を着実に進めることで、市民の安心・安全の確保や、災害に強いまちづくりを推進します。

都市基盤の充実



東山田・谷貝地区では、産業用地の整備を進めているところです。雇用の創出や地域経済の活性化に向け、開発エリアの拡張も含め、官民連携で着実に進めます。また、古河発の創業や企業の事業承継を支援し、持続的な地域経済を形成します。古河駅周辺をはじめとするにぎわい創出のため、空き店舗の活用促進に取り組みます。

産業の育成

未来へ大きく夢広がる 古河市の実現に向けて

令和7年度施政方針



令和7年度における市政運営の基本方針と
主要施策等の概要について説明します

古河市長 針谷 力

昨年12月16日から古河市長として3期目の任期をスタートさせていたできました。これまでの2期8年の実績を継続・発展させ、未来へ大きく夢広がる古河市を実現する決意であります。

急速に進む少子高齢化や人口減少、気候変動に伴う豪雨災害の多発化など、地方を取り巻く環境は厳しさを増しています。このような行政運営の舵取りが難しい時代を切り拓いていくため、市民の皆さまと共に、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

市政運営の基本方針

「第2次古河市総合計画」および「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、引き続き地域の多様なステークホルダーと連携しながら、地方創生を進めます。また、各政策の推進に当たっては、財源や人財を積極的に活用するとともに、合併20年の節目を踏まえ、これまでの取り組みを振り返り、時代の変化に対応した施策の展開を行ってまいります。